

# 県の地図データ 授業へ

県庁内の各課で使う地図データを統合した「県統合基盤地理情報システム」を教育現場で活用しようと、静岡市葵区の静岡大教育学部付属静岡小学校で14日、同システムでインターネット上に映し出される地図情報を使った講座が開かれた。

## 地理情報簡単に 静大付属静岡小で

### ラドキの教育

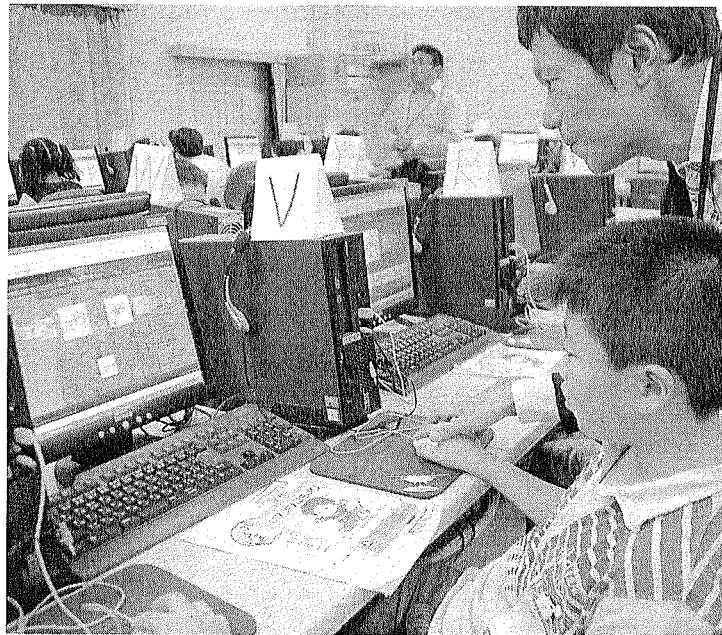
同システムは、本来は危機管理の効率化などのために開発したもので、ネット上に表示された地図から、県内の文化財や橋などの建築物、観光地などの情報が見られるほか、世界中の地図や上空写真を見ることが、面積の計測もできる。今年5月から一般に公開されている。

県では、同システムを児童が地図情報に興味を持つきっかけにできないかと注目し、今回、初めて講座が開催された。

講座には、同小3年3組の児童約30人が参加。画面に表示される地図情報から、安倍川の長さを測ったほか、東京ディズニーランドなど県外の施設や、イギリスやカンボジア、ノルウェーといった海外の都市の写真やデータを調べるなど

## 地域に関心 きっかけ作り

した。野球が好きだという君(9)は「東京ドームと甲子園球場を見たい」と笑顔を見せていた。担任の 教諭は「今後、児童たちが地域の活性化などについて学んでいく上で、興味を持ってもらえる」と、同システムの効果について話した。



県の職員に説明を受けながらネット上の地図情報を見る児童

2011年10月15日付け 読売新聞  
(朝刊) より